

2007年新潟県中越沖地震の余震分布

陸上臨時地震観測による余震観測

東京大学地震研究所・北海道大学・弘前大学・東北大学・名古屋大学・京都大学・九州大学・鹿児島大学

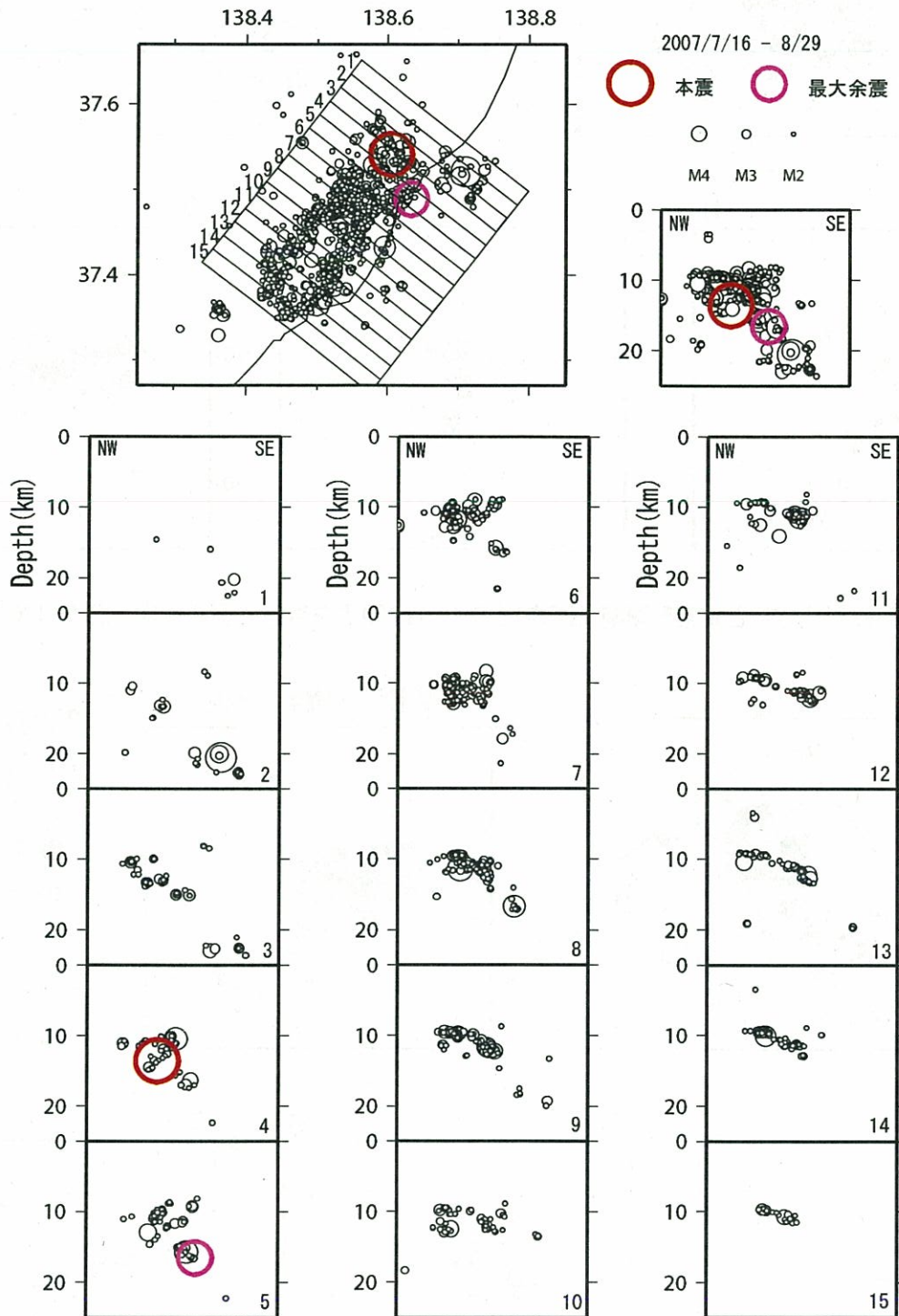


図1 陸上合同観測(51点)と定常観測網(26点)を使いtomoDD法を用いて決めた震源分布(1001個)。

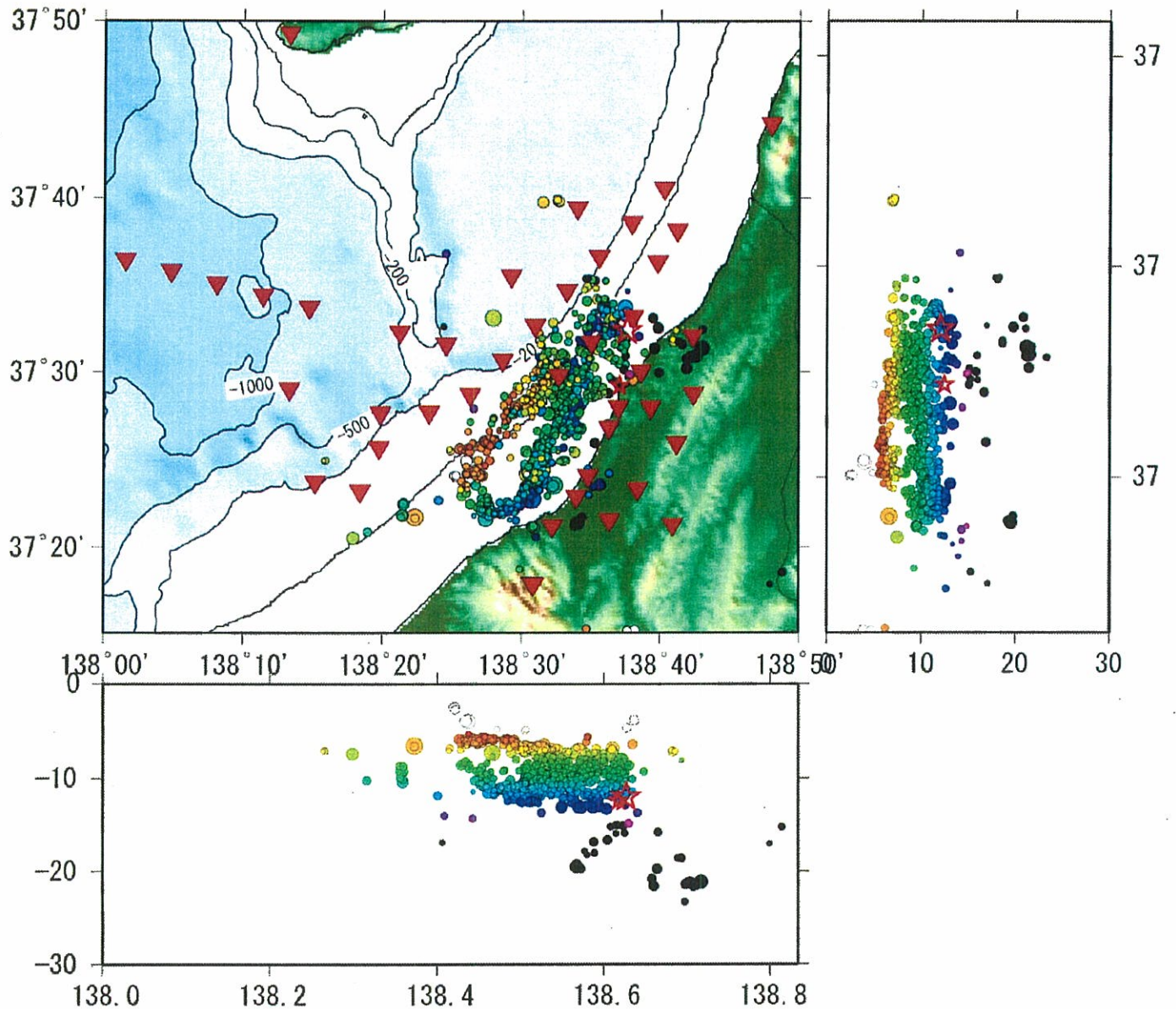


図6 既存テレメータ観測点と海陸の臨時観測点を用いて決めた震源の断面図。気象庁一元化震源に基づき読み取った715個の地震のうち、706個がDD法で決定された。なお、DD法の初期震源位置には、同じ観測点のデータによる1次元構造震源決定結果を用いた。震源の色は震源の深さを表している。

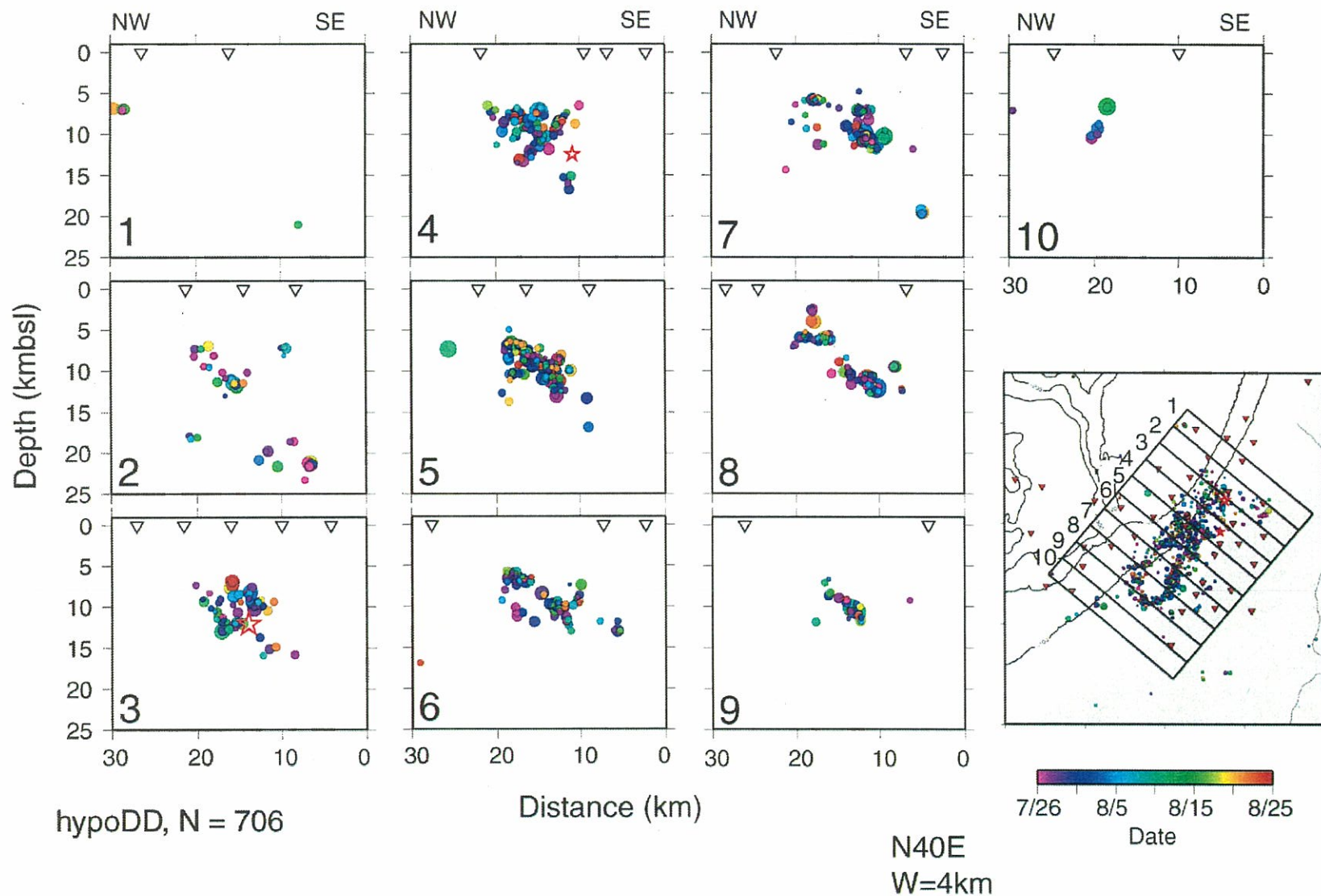


図7 DD法で求めた震源の深さ分布。震源の色は発生した時間を表している。